

令和7年度(2025年度)

熊本市・福井市小学生交流事業

# 交流の記録



熊本市教育委員会

# 目次

福井市の概要	.....	1
交流事業の概要	.....	2
交流日程表	.....	3
【受入】写真集	.....	4
【派遣】写真集	.....	12
団員の感想	.....	20
熊本市役職員の感想	.....	20
保護者の感想	.....	22

## 福井市の概要



### 福井県 福井市

人口：252,463 人【令和7年(2025年)9月1日現在】

面積：536.37 km<sup>2</sup>

姉妹都市締結日：平成6年(1994年)11月16日

### 《市の概要》

福井市は、戦国期には柴田勝家が北ノ庄城を築き、江戸時代には大規模な城下町として発展した北陸の要衝である。1940年代には福井大空襲や福井地震など相次ぐ災害に見舞われたが、市民の不屈の努力により復興し、「不死鳥のまち」として知られるようになった。

市内には特別史跡・一乗谷朝倉氏遺跡をはじめ多くの歴史遺産が点在し、自然環境にも恵まれている。また、住みよさランキングでも上位に選ばれる快適な都市で、2024年には北陸新幹線の延伸によりアクセスも向上した。

### 《交流の経緯》

福井市は織物王国といわれるほど繊維産業が集積しており、ファッションタウンの形成を目指しているとともに、テクノポリスや国際会議観光都市の指定を受けているなど、産業振興の面からも熊本市との共通点を有している。また、肥後熊本藩主・細川斉護(なりもり)公の娘である勇姫の越前福井藩主・松平慶永(よしなが)〔春嶽(しゅんがく)〕公への輿入れ(1840年)、郷土の先哲・横井小楠が福井藩の藩政改革にあたるなど、深い歴史的縁のある都市である。

このような歴史的背景がきっかけになり、平成6年11月16日、熊本市において姉妹都市盟約書調印式を執り行った。

## 熊本市と福井市との「姉妹都市盟約書」

熊本市と福井市は、松平春嶽公と横井小楠先生に因む歴史的な縁を礎として、青少年、文化、スポーツ、産業・経済等の各分野における交流を通じ、広く市民相互の理解と友情の絆を育み、ともに輝かしい未来に向けて協力し、都市建設に取り組むことを合意する。

ここに、両市の恒久的な友好関係を確立するため、姉妹都市として提携することを盟約する。

平成6年11月16日

熊本市長 田尻 靖幹

福井市長 酒井 哲夫

# 令和7年度(2025年度)熊本市・福井市小学生交流事業の概要

## 1 事業の目的

青少年教育の一環として、熊本市の姉妹都市である福井市と小学生相互の交流を行い、寝食を共にした生活体験や両市の文化紹介、歴史・文化施設の見学等を通して、両市の友好関係を深める。

## 2 事業の経緯

平成6年11月、両市間の姉妹都市締結に伴い、青少年の交流を行うことが決定された。以後、平成7年に第1回目の小学生相互の交流を行い、本年度で31回目の交流となる。

8回目の交流からは、熊本の夏の暑さ、福井の冬の寒さを体験してもらうため、夏の受入・冬の派遣を行っている。平成28年度は、震災の影響で冬の派遣のみ、そして、新型コロナウイルス感染症の影響により平成2・3年度はオンラインでの交流を実施した。両市への訪問を令和4年度から再開したが、令和5年度の福井市への派遣は、能登半島地震のため中止となった。

令和6年度は交流事業30周年を記念して、これまで交流事業に参加経験のある団員や役職員も参加して「火の国まつり」に参加した。

## 3 主催

熊本市教育委員会

## 4 団員資格

市内の小学校に在籍し、または市内に在住する6年生の児童で、保護者の同意のある者

## 5 本年度の交流活動

(1) 活動期間 受入:令和7年8月1日(金)～8月3日(日)  
派遣:令和8年1月10日(土)～1月12日(月)

(2) 派遣先 福井市

(3) 主な活動内容

【受入】	・熊本市教育長表敬 ・横井小楠記念館見学 ・熊本城・城彩苑見学 ・街中探検 ・おてもやん総踊り参加 ・熊本博物館見学	【派遣】	・福井市長表敬 ・郷土歴史博物館見学 ・スキー体験学習 ・恐竜博物館見学 ・体験発表会
------	---	------	---

(4) 団員構成

【熊本市】 団長1人、指導員1人、指導員(養護)1人、総務1人  
小学生団員 男子6人、女子6人 計16人

【福井市】 団長1人、副団長1人、指導員1人  
小学生団員 男子6人、女子6人 計15人

# 交流日程表

## 【受入】事前研修①

期日・場所	活動内容
7月6日(日) 中央公民館6階会議室	保護者説明会(午前) 団員研修・学習会(終日)

## 【受入】事前研修②

期日・場所	活動内容
7月13日(日) 中央公民館6階会議室	(午前) 熊本市紹介の準備・発表練習

## 【受入】日程

期日	活動内容
8月1日(金) (1日目)	福井市団 到着(熊本駅) 熊本市教育長表敬 横井小楠記念館見学 入所式・歓迎式・交流のつどい
8月2日(土) (2日目)	熊本城見学 城彩苑見学 街中探検 おてもやん総踊り参加
8月3日(日) (3日目)	熊本博物館見学 福井市団 熊本駅発

## 【受入】事後研修

期日・場所	活動内容
8月17日(日)	(午前)
中央公民館6階会議室	受入活動動画視聴 受入の振り返り など

## 【派遣】事前研修

期日・場所	活動内容
12月7日(日)	(午前)
中央公民館6階会議室	保護者説明会 団員研修

## 【派遣】

期日	活動内容
1月10日(土) (1日目)	熊本市団 到着(福井駅) 福井市長表敬・歓迎式 福井市郷土歴史博物館見学
1月11日(日) (2日目)	スキー体験教室 恐竜博物館見学 体験発表会準備
1月12日(月) (3日目)	体験発表会 熊本市団 福井駅発

## 【事後研修】

期日・場所	活動内容
1月25日(日)	(午前)
中央公民館6階会議室	交流の振り返り 体験のまとめ発表会



# 【受入】1回目事前研修 令和7年7月6日(日)

結団式・保護者説明会・団員研修



# 【受入】2回目事前研修 令和7年7月13日(日)

各班で熊本紹介プレゼンテーションづくり



熊本駅でお迎え



教育長表敬



横井小楠記念館



金峰山自然の家



入所式



交流の集い 熊本紹介



おてもやん総踊り練習



熊本城・城彩苑見学



熊本城を眺めながらの昼食



わくわく座見学



街中探検 (上通・下通・新市街など)





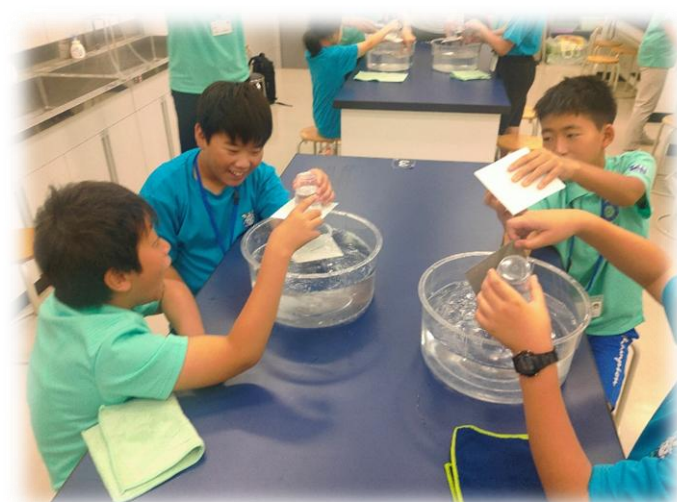
おてもやん総踊り



退所式



熊本博物館



お別れ会



熊本駅でお見送り



**【派遣】1日目** 令和8年1月10日(土)

出発式



テレビ局取材



いよいよ出発



新大阪駅で乗り換え



福井駅到着



福井市での歓迎式(市長表敬)



代表あいさつ



全員で「福いいネ!」



### 郷土歴史博物館(館内見学)



### 郷土歴史博物館(三角縁神獣鏡チョコ作り)



### 歓迎のつどい



### 三角縁神獣鏡チョコの試食



### 福井市子ども会ジュニアリーダーによるレクリエーション



朝食(福井市少年自然の家)



スキー体験(スキージャンプ勝山)



インストラクターによるスキー教室



ずいぶん滑ることができるようになりました



楽しかった雪遊び



雪景色



昼食 (ソースカツ丼と越前蕎麦)



恐竜博物館



**【派遣】3日目 令和8年1月12日(月)**

**体験発表会・またねの会**



**いよいよ福井市ともお別れ**



帰着式



【派遣】事後研修

派遣の思い出作成・発表会



## 団員の感想

- 熊本と福井の違いを体験することで、今まで知らなかった新しいことをたくさん学びました。いつもと違う日常を過ごすことで、自分も少し成長できたと思います。この3日間は、僕の心に残る思い出になりました。
- この交流に参加する前は、初対面の人と積極的に話すことができませんでした。この交流をとおして、自分から進んで声をかけられるようになりました。福井にも友達ができて、ずっと親しい関係でいたいと思っています。この交流に参加できて、本当によかったです。
- 最初は、「友達と仲よくなれるかな」とか「物を忘れないかな」とかいろいろな不安がありました。最終的にはいい思い出がたくさん残った、最高の交流になったのでよかったです。
- こんなに住むところが離れていても、福井の友達と仲よくできるってすごいなと思いました。福井市と熊本市の関わりやお互いの歴史なども知ることができたので、よかったです。
- やったことのない事に挑戦するのは大事だと思いました。新幹線に長い時間乗るのも、スキーをするのも、雪道を歩くのも福井ですることほぼすべてが初めてで、熊本で体験できないことでした。福井で経験したことを忘れずに、これからの生活に生かしていきたいです。
- 熊本市・福井市交流事業は、本当に貴重な体験がたくさんできて、たくさん学べたし、楽しかった思い出ができました。
- 福井のみなさんの温かさや「緑のスcoopひとかき運動」など、現地で見つけた福井の魅力を、たくさん熊本のみんなに伝えたいと思います。
- 新しい友達や初めての体験ができて楽しかったです。交流が終われば、全員と会えなくなるのは悲しいです。
- 私は将来、建築士になりたいのですが、今回の交流で、福井や新幹線から見える家のつくりも見ることができました。熊本だけじゃなく、広い視野で家を設計できる建築士へと、この経験をつなげていきたいと思っています。
- 熊本市と福井市の関係について知ることができました。この交流での経験は、絶対に忘れられないものになったと思います。
- 一生心に残る大切な思い出ができました。あまり興味を持たなかった福井のことや、地元の熊本についての交流関係やそれぞれの歴史をたくさん知ることができました。
- みんなの旅も終わってしまい、めったに会う機会もなくなってしまうと思いますが、交流で身につけたものを生かしていきます。
- 終わってしまってもさびしいと感じているところ、みんなももっと交流したかったと感じているところもあります。これからも、今回

## 熊本市役職員の感想

本年度、熊本市・福井市小学生交流事業が31年目を迎えるにあたり、団長として本事業に携わる機会をいただきましたことに、心より感謝申し上げます。私にとっては昨年度に続き2回目の参加となりましたが、今年も子どもたちが活動を通して大きく成長していく姿を見ることができ、その頼もしさに胸が熱くなる思いでした。同時に、この事業が長く続けられてきた意義を改めて感じる一年となりました。

今年度は、受入・派遣ともに概ね計画どおりに実施することができ、子どもたちが大きな病気や怪我もなく充実した時間を過ごしてくれたことを、大変嬉しく思います。事前・事後の研修会をはじめ、代表あいさつの練習、熊本市・福井市の学習、そして現地での交流など、どの場面においても子どもたちは積極的に取り組んでいました。活動を重ねるうちに仲間とのつながりが深まり、互いに協力して課題に向き合う姿は、本当に頼もしく感じられました。初めて出会う仲間の中で自分の思いを言葉にすることは決して容易ではありませんが、その場その場で柔軟に対応することもたちの力強さには、目を見張るものがありました。

また、最後の研修会では、「とても楽しかった」「参加してよかった」「友達が増えてうれしい」「また挑戦したい」といった明るい言葉が、子どもたちから次々と聞かれました。こうした前向きな気持ちは、豊かな経験があつてこそ生まれるものです。何より、子どもたちが本事業に参加しようと最初の一步を踏み出してくれたこと自体が、大変意義深いことであると感じています。今回の経験が、今後の学びや挑戦へとつながり、子どもたちの自信になることを心から願っています。

福井市との交流の形は、時代の変化に合わせてこれからも少しずつ姿を変えていくことでしょう。しかし、両市の友好を深め、次代を担う青少年を育成するという本事業の目的は、今後も変わることなく受け継がれていくと確信しています。次年度以降も、より多くの子どもたちが豊かな交流を経験できるよう、事業が一層発展していくことを期待しております。

最後になりましたが、本事業の実施にあたりご尽力いただきました両市の職員の皆様をはじめ、関係団体の皆様、そして参加していただいた団員とご家族の皆様へ、心より感謝申し上げます。

熊本市・福井市小学生交流事業の指導員として参加する機会をいただき、本当に貴重な経験をさせていただきました。熊本市と福井市、それぞれの子どもたち、そして交流を支えてくださった福井市の役員の方々の皆さまとの出会いに、心より感謝いたします。事前研修では、初めて顔を合わせる子どもたちが驚くほど早く打ち解け、グループワークや話し合いに積極的に取り組む姿が印象的でした。不安そうな表情だった子どもたちが、活動を重ねるごとに自然と笑顔になり、互いを受け入れていく姿から、「子どもたちの持つエネルギー」を強く感じました。

交流事業の2泊3日の間には、生活や活動を共にする中で、子どもたちがお互いを思いやり、助け合う場面が多く見られました。初めは慣れない環境に緊張していた子どもたちも、最終日には自分から声をかけ、協力し合う姿へと大きく成長していました。

その姿を近くで見ることができたことは、指導員として何より嬉しい瞬間でした。

福井市に到着した際、駅で福井市の子どもたちがとびきりの笑顔で迎えてくれたことは、今でも心に残っています。久しぶりの再会を心から喜ぶ子どもたちの姿に胸が熱くなりました。また、歓迎会での福井市の皆さまの温かなおもてなしにも、深く感謝しております。

活動では、熊本市ではなかなか体験できないスキーや雪遊びに挑戦し、転んだりはやいだししながら、全身で楽しんでいる子どもたちの姿が印象的でした。恐竜博物館では、そのスケールの大きさに目を輝かせ、驚きながら見学する様子が見られました。

福井市での体験は、子どもたちにとって一生の宝物になったと感じています。最終日の別れの場面では、「もっと一緒にいたかった」「また会いたい」という言葉が自然にこぼれ、涙ぐむ姿も見られました。その光景から、この交流が子どもたちにとってどれほど心に残る経験となり、かけがえのない思い出になったのかを改めて感じました。

この交流事業は、子どもたちだけでなく、私自身にとっても学びと気づきに満ちた時間でした。子どもたちの素直さ、たくましさ、優しさに触れながら、一緒に成長できたことを心から幸せに思います。この交流が、これからも長く続くことを願っています。

最後に、子どもたちが夏・冬それぞれの交流事業に無事参加できたのは、日頃より温かく見守り支えてくださったご家庭の皆さまのお力添えと、本事業にご尽力いただいた関係者の皆さまの多大なるご協力のおかげです。心より感謝申し上げます。

今回養護教諭として、子どもたちの健康面をサポートするという立場で、初めてこの交流事業に参加させていただきました。熊本市と福井市の交流6日間の参加でしたが、私自身も貴重な経験をすることができました。

熊本市の3日間の交流活動では、横井小楠記念館や熊本城見学、熊本博物館や火の国まつりおてもやん総おどりなど熊本の歴史や文化に触れました。24人の子どもたち一人一人が真剣に、また、互いに学んだことを確かめ合いながら参加していました。他にも、班行動で回った「街中探検」では、自分たちで水分補給の声を掛け合ったり、様子を見ながら休憩を挟んだり、仲間の健康面にも目を向けられる意識が感じられ、とても印象的な活動でした。

福井市の3日間の交流活動では、福井市郷土歴史博物館や恐竜博物館などで歴史を学びました。また、スキー体験ではお互いに良かったところなどを伝え合ったり、転んで立てない子を手伝ったりするなど、更に交友関係を深めていました。特にこの3日間は、8月の活動では見られなかった、子どもたちの積極的に発表する姿や行動する姿など、その成長や表情を見ることができとても良かったです。

今回の交流事業を通して、子どもたちの表情や様子など、心と体の両面からの視点を踏まえ、よく観察しておく大切さを改めて実感しました。8月の活動では猛暑による熱中症の心配もありましたが、子どもたちの表情は意欲的で、汗をたくさんかいても、笑顔で活動に参加するなど、心から楽しんでいたのが伝わってきました。この6日間大きな怪我などもなく、子どもたちの成長した姿を間近で見ることができ、とても貴重な経験をさせていただきました。

30年以上続く、この交流事業に参加できたこと、指導員の方々と一緒にできたこと、両市の歴史や文化に触れ、体験できたことに大変感謝しております。今後もこの交流が続き、さらに深まっていくことを願っています。

今年度、31回目を迎えた「熊本市・福井市小学生交流事業」に、初めて指導員として参加させていただきました。総務として企画・運営に携わり、熊本市での受入から福井市への派遣まで、無事に終えることができました。本事業にご尽力いただいた熊本市交流団・福井市交流団の関係者の皆様をはじめ、ご参加いただいた団員、ご家族の皆様にご心より感謝申し上げます。

今回の交流事業では、初めて出会う友達、初めて訪れる場所、熊本とは異なる気候など、子どもたちにとって新しい体験が数多くありました。その中で、一人ひとりが自分なりの方法で周囲と関わり合い、活動を通して成長していく姿が見られました。

当初は友達との距離感がつかめず戸惑っていた子どもも、次第に相手の顔を見て話すようになり、活動をとおして自然に協力し合う姿が見られるようになりました。また、その日の出来事を自分なりに受け止め、見たこと・感じたことを自身の学びにつなげていく子どもたちの姿はとても印象的でした。

熊本と福井で“初めての経験”を積み重ねる中で、子どもたちは新しい環境に柔軟に対応し、友達と力を合わせながら、自分の力で一歩前に進む姿を見せてくれました。参加した子どもたちにとって、多くのことを学ぶ貴重な機会となったことと思います。派遣後に行った団員全員での最後の機会である『事後研修』では、子どもたちから、「自分から進んで声をかけられるようになりました」「熊本市と福井市の違いを体験し、今まで知らなかったことをたくさん学びました」「いつもと違う日常を過ごすことで、自分も少し成長できたと思います」など、充実した学びが感じられる感想が多く寄せられました。

今後も、交流事業での体験を生かし、子どもたちがそれぞれの場で持ち味を発揮して活躍していくことを願っています。そして、この交流事業をとおして熊本市と福井市の団員の子どもたちの間に生まれた強い『つながり』によって、両市の絆が一層深まることを期待しています。

## 保護者の感想

- 帰ってきた日の表情を見ただけで、充実した3日間だったと分かりました。成長も感じました。約6時間の長旅もいい経験になったと思うし、家族とではなく、一人で福井まで行くことへの喜びや不安、五感で感じる熊本との違い、また福井の子との別れなど様々な思いを抱いたのかなと思います。本当に貴重な経験をさせて頂いたと思います。新幹線つるぎ、サンダーバード、または琵琶湖を見るなど、移動手段から刺激がたくさんで、着いてからもスキーや恐竜博物館見学とイベント目白押しで短い期間にも関わらず沢山の経験をさせていただきありがとうございました。
- 今までこういった募集があっても特に気にとめた事はなく、ましてや娘はあまり積極的な方ではない為見ず知らずの人達と交流するという事に対して、親である私が勝手に「苦手だ」と決めつけていたのかもしれませんが、でも、今回先生方の手厚いサポートと一緒に参加したお友達に支え、そして助けて頂きながら一生の思い出になる経験をさせていただきました。娘にとっても「自信」に繋がったのではないかと感じています。
- 学校や地域の枠を超えた同級生とのつながりをもつことができたことや、自分の住む地域とは違う文化や自然に触れることで、本人の成長を感じることができました。
- 自分の学校以外の子と関わる経験、役割を与えてもらって務めることが、日頃の生活では体験できなかったと思います。夏休みには火の国まつりに参加したり、熊本の歴史めぐりに行ったりと改めて熊本のよさに触れたのではないかと思います。子どもたちが10年後に集合しようと約束した(実現するかわかりませんが)ようですが、そんな仲間に出会えて良かったです。
- 福井のことだけではなく、今回改めて熊本のこといろいろ知る機会になったと思います。また、小学校の親しい友達とは違い、初めての環境で仲良くなったりその中で一緒にたくさん経験をしたりすることができ、本人にとって学びが多かったと思います。今後も新しいことに挑戦していく気持ちを持って行ってほしいです。
- 他県に旅行で行くことはあっても、その土地のことや歴史にふれることはあまりないので、いい経験をさせてあげることができたと思います。また、新しい学校以外の友達もできて、とてもうれしそうだったので、参加させてよかったです。
- 友達や先生との新しい出会いをはじめ、共同作業や発表づくり、市長さんへの訪問など、どの経験もこどもにとって大きな刺激となり、貴重な学びにつながったと感じています。密度の高いスケジュールの中で自分を律しながら最後までやり遂げた姿に、成長と頼もしさを強く感じることができ、とても良かったです。
- 県内、そして福井の児童と交流することで、また一つ視野が広がったと思います。また、恐竜という熊本でも見られる博物館を他県でも見ることで「どんな違いがあるのだろう」と改めて熊本そのものにも興味を持てるようになりました。